

製品名: シナプトフィジン (10C8) マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM03573**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください (12 ヶ月有効)。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	腹水

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 34 kDa; Observed MW: 34 kDa

抗原情報

遺伝子名	SYP
別名	SYP; Synaptophysin; Major synaptic vesicle protein p38
遺伝子 ID	6855
SwissProt ID	P08247
免疫原	ヒトシナプトフィジンの合成ペプチド

背景

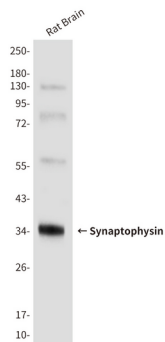
SYP 他の膜成分の組織化や小胞の細胞膜への標的化といった構造機能に関与している可能性がある。短期および長期のシナプス可塑性の調節に関与する。シナプトフィジン / シナプトブレビンファミリーに属する。ホモヘキサマーまたはホモテトラマー。注: この

説明には UniProtKB の情報が含まれている場合があります。

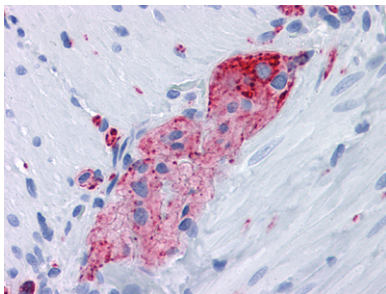
研究分野

神経科学

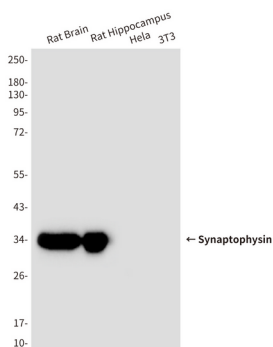
画像データ



シナプトフィジン (10C8) 抗体を使用したラット脳溶解物中のシナプトフィジン (10C8) のウエスタンブロット分析。



シナプトフィジン (10C8) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



ラット脳、ラット海馬、Hela、3T3 ライセート中のシナプトフィジン (10C8) 抗体を用いたシナプトフィジン (10C8) のウエスタンブロット分析